

会 議 録

1 会議名

令和5年度第7回名立区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1 報告事項（公開）

（1）令和4年度のうみてらす名立における市及び指定管理者の収支状況等について

（2）第2回名立区公共交通懇話会の開催について

（3）視察研修について

2 協議事項（公開）

（1）自主的審議事項「ろばた館の利活用について」

（2）地域協議会活動報告会の開催について

3 その他事項（公開）

3 開催日時

令和5年12月6日（水）午後6時30分から午後7時40分まで

4 開催場所

名立区総合事務所 第2会議室

5 傍聴人の数

1名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：石井浩順、小林晴子、大門廣文、竹内隆、高宮秀博、中野祐、二宮香里、畑芳雄、原田秀樹、三浦元二

・事務局：桐木所長、本間次長（総務・地域振興グループ長兼務）、沢田市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、石崎地域振興班長
観光振興課：若山課長、渡辺主任

8 発言の内容

【石崎班長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 原田会長に議長を依頼する。

【原田会長】

- ・ 挨拶
- ・ 桐木所長に挨拶を求める。

【桐木所長】

- ・ 挨拶

【原田会長】

- ・ 事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

【石崎班長】

- ・ 会議録の確認者：竹内委員、二宮委員
- ・ 配布した資料の確認

【原田会長】

- ・ 次第2報告事項（1）令和4年度のうみてらす名立における市及び指定管理者の収支状況等について、観光振興課に説明を求める。

【渡辺主任】

- ・ 資料 No. 1 に基づき説明

【原田会長】

- ・ この件について、質問や意見のある方は発言してほしい。

【各委員】

- ・ 意見および質問なし

【原田会長】

- ・ では、報告事項（1）令和4年度のうみてらす名立における市及び指定管理者の収支状況等については以上で終了する。

【原田会長】

- ・次に、報告事項（２）第２回名立区公共交通懇話会の開催について、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・資料 No. 2 に基づき説明

【原田会長】

- ・この件について、質問や意見のある方は発言してほしい。

【各委員】

- ・意見および質問なし

【原田会長】

- ・では、報告事項（２）第２回名立区公共交通懇話会の開催については終了し、次に報告事項（３）視察研修について、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・10月27日に名立区地域協議会の視察研修を実施した。午前中は、中郷区を訪れ、中郷区まちづくり振興会の理事長より、二本木駅を活かした活動を中心に説明していただき、意見交換を行った。
- ・午後は板倉区筒方地区を訪れ、筒方地区連絡協議会の会長より、旧筒方小学校を拠点としたそばや山菜を活用した地域振興の取組に関する説明と、今年度同地区に地域おこし協力隊として着任し、そばを用いた地域振興を行っている隊員から活動報告をいただき、意見交換を行った。
- ・出席した委員は、原田会長、石井委員、中野委員、畑委員、二宮委員の5名であった。

【原田会長】

- ・中郷区まちづくり振興会の理事長とお会いしたが、第一印象として、非常に若い理事長だと感じた。若い理事長の元で、皆さんが協力して活動されている様子が印象に残った。
- ・二本木駅を地域の核として活動しているというお話を伺ったが、そこから派生して、様々な年代の方が活動に携わって地域づくりをしているところが印象的だった。
- ・次に板倉区筒方地区のそばを用いた地域振興だが、非常に活気があって、地域の皆

さんの思いを感じた。

- ・そばは、上越市では頸南、頸北で取り組んでいる地域が多いが、筒方地区がそばに非常に力を入れている様子が感慨深かった。
- ・実際に粉を引く現場を見たが、地域全体で手作りをしている様子がとても勉強になった。
- ・思いがあれば、あれだけのことができて、イベントをすれば沢山の方に来ていただけるということが興味深かった。
- ・それでは、報告事項（3）視察研修については以上とし、次に協議事項（1）自主的審議事項「ろばた館の利活用について」、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・資料 No. 3 に基づき説明

【原田会長】

- ・資料 No. 3 中の「取組に必要な予算措置」を委員それぞれが記入し、期限までに事務局へ提出してほしいという話だったが、各分科会から出てきた利活用案について、この場で意見等があれば発言してほしい。

【三浦委員】

- ・事務局から「取組に必要な予算措置」という話があり、その具体例も伺ったが、現在のろばた館の状態が分からない。例えば、ろばた館の厨房にどのくらいの大サイズの冷蔵庫があるのか、そういったことが分からないので、利活用のために必要な予算措置と言われても考えられない。
- ・また、私たちよりも実際に活動している方、例えばそばを打つ方、特産品を作る方などのほうが、これからろばた館を拠点に活動していく際に足りないもの、不便なことを把握していると思うので、こういった活動団体にも照会してはどうか。

【原田会長】

- ・地域協議会として「必要な改善点」がまとまったら、活動団体の皆さんの意見も聞きたいと思っている。
- ・同時進行した方がよいということになれば、このタイミングで、活動団体へアンケートを行ったり、意見交換会を開催するなど考えたい。

【石崎班長】

- ・今回は地域協議会委員の皆さんに伺っているが、活動団体の皆さんの意見も必要と考えている。また、事務局としてもどんなものが必要か考えていく。
- ・今回は地域協議会委員の皆さんの視点で改善点を考えてほしい。

【石井委員】

- ・もし可能であれば、ろばた館の中にどんなものがどのくらいあるのかを自分の目で見てから回答したい。
- ・しかし、厨房などは一般の人が入れないので、事務局から許可を取ってもらえないか。

【高宮副会長】

- ・先日の新そばまつりの際に、ろばた館の厨房に入る機会があったが、狭いと感じた。ガスコンロや流し台など、必要な機能はあるが小さい。冷蔵庫も何台かあったが、家庭用のサイズだった。
- ・例えば、加工グループの方たちがろばた館で活動しようとしたときに、ろばた館の厨房よりも今の加工所の方が使いやすいと思う。
- ・本当に活用するのであれば、大規模な改修が必要になるのではないか。

【石崎班長】

- ・委員の皆さんがろばた館の厨房等を見学できるよう、調整したいと思う。詳細については後日連絡する。

【原田会長】

- ・委員の皆さんは、日中は仕事があるので個別にろばた館へ行くことになると思う。その旨を所管課や管理人等に事務局から伝えていただきたい。
- ・皆さんも、伺う際は「地域協議会委員である」と名乗ってから見学してほしい。
- ・高宮副会長が言われた意見は、まさしく調理する方の視点で、必要な意見だと思うので、この用紙に記入してほしい。
- ・私の意見としては、ろばた館の空調設備はいつ壊れてもおかしくない状態であるから、今後も活用していくためには空調の改修が必要だと思う。
- ・こういった視点で皆さんからも回答いただきたいと思っている。

【三浦委員】

- ・地域協議会として改善点をまとめること、活動団体からも意見を聞くことは承知し

たが、もう少し丁寧に進めてほしいと思う。

- ・また、予算措置について、地域の意見を集めた後、どのように展開していくかを知りたい。
- ・予算措置という表現がいきなりすぎるように感じる。皆さんの意見を見て、「こんなに費用がかかるならやめよう」とか、「このくらいの費用ならできそう」といった話になるのか。それとも、いくらコストがかかっても、利活用のために必要な改修なら実施するという話になるのか。

【原田会長】

- ・予算の話が出ているが、予算措置を行うのは市であり、私たちは「利活用するにあたって、こういったものが欲しい」、「この部分の改修が必要ではないか」といった提案をする立場だと思っている。
- ・例えば、空調を入れ替えるとなれば、何百万円もかかる話になると思うが、「地域としてここは譲れない」という部分は、地域の思いを込めて要求していきたい。
- ・三浦委員からは「もう少し丁寧に…」という話もあった。急いでいるわけではないが、私たちの任期も今年度で終わりになるので、それまでに少しでも形にしたいという思いがあることをご理解いただきたい。

【小林委員】

- ・例えば「そば打ち処として活用する」といった場合、私たちでは具体的に何がどのくらい必要なかは分からないので、活動団体への聞き取りも行ってほしい。

【原田会長】

- ・確かに、私たちでは分からない部分も多いが、小林委員が「これでは狭い」とか、「洗い場が少ない」と感じたならば、それを意見として教えてほしい。
- ・委員の皆さんから実際にろばた館を見ていただき、感じたことを提案してもらえればよいと思う。

【中野委員】

- ・活動する規模によって、必要な予算額はかなり変わってくると思う。例えば、「そば打ち処」として活用する場合、家庭で食べる程度の量を作るのか、お店で大勢の人に提供するような量を作るのかによって、改修の規模は変わってくる。そのあたりはどう考えればよいか。

【原田会長】

- ・厨房や食堂の面積を考えると規模には限界がある。例えば、今回の新そばまつりでは1日100食を提供したが、厨房をフル活用した。また、同じ時間帯に50人前後が食堂に入ったが、ほぼ満席であった。なんとなくだが、今回の新そばまつりの規模が、ろばた館でイベント等を行う際の最大の規模ではないかと思う。
- ・ろばた館を建て替えてまで集客を増やすという話にはならないと思うので、今ある建物で実現できる範囲の改修になる。

【石崎班長】

- ・分科会で数か月をかけて協議し、出てきた利活用案を、単に費用がかかるという理由で絞っていかうとは思っていない。できる限り実現できるように考えていきたいと思っている。
- ・今回、取組に必要な予算措置を考えた結果、高額なものは落とすということではなく、利活用案を実現するためには、どのような改修が必要で、現在はどの程度整備できているのかといったことを把握し、予算要求する際の材料としたい。
- ・皆さんが「このくらいの規模の活用をしたい」といった考えがあれば、その点も含めて提案してほしい。

【三浦委員】

- ・今の話を聞くと、そもそも「予算措置」という言葉が誤解を招くように思う。「予算措置」という表現ではなく、例えば「取組に必要な事業費」という表現にすれば、利活用案を実現するためにはどのくらいの費用が必要なのかと考えやすいと思う。
- ・皆さんから実現のために必要な事業費を考えてもらい、それに対して必要な予算措置をするのは市であったり、実施する団体であったり、次の段階の話ではないかと思う。
- ・もう一点、「ろばた館の地域拠点としての機能」という資料だが、この図だと4つの分野がバラバラに見える。本当は、4つの分野が絡み合って、ろばた館を作り上げていくものだと思うので、この図の見せ方をもう少し工夫し、分かりやすくしてはどうか。

【原田会長】

- ・三浦委員が言われたとおり、「予算措置」という言葉は誤解を招く恐れがあるので、

「取組に必要な改善点」など、表現を変更したいと思う。

- ・皆さんが用紙に記入する際も「予算措置」ではなく、「取組に必要な改善点」といった視点で考えてほしい。
- ・また、「ろばた館の地域拠点としての機能」という資料も変更が可能であれば、公表する前に改善してほしい。

【石崎班長】

- ・承知した。

【高宮副会長】

- ・先月、新そばまつりを行ったが、協力いただいた名立加工グループの会や、名立区農業振興協議会と、開催後に意見交換等は行ったのか。

【石崎班長】

- ・まだ開催していない。

【高宮副会長】

- ・協力いただいた名立加工グループの会や、名立区農業振興協議会から意見が聞けると、今後の利活用に向けて参考になると思う。

【石井委員】

- ・新そばまつりを行った2日間は、ろばた館の温浴を営業していたようだが、入浴した人はいたのか。

【桐木所長】

- ・新そばまつりの来場者で入浴した方もいた。そばセットを注文した人に100円引き券をお渡ししたが、その券を利用して入浴した方が6名いた。その他にも、割引券を利用しないで入浴した方や、新そばまつりではなく、ろばた館の温浴目当てで訪れた方もいたと聞いている。

【二宮委員】

- ・私は新そばまつりの際にシャトルバスに添乗していたが、区外から来られた方で、すでにろばた館が閉館していると勘違いされていた方が何名かいた。
- ・ろばた館をもっと区外の方にもPRできればよいと思う。

【桐木所長】

- ・ろばた館の利用拡大に向けたPRを行ってほしいと、農村振興課に伝えたいと思う。

【原田会長】

- ・私も、「普段は閉館しているけれど、そばまつりのために開館したのでしょうか」と聞かれた。ぜひ、PRを行ってほしい。

【三浦委員】

- ・今、地域協議会がこのような形で動いていることや、今後の動きについて、関係団体の皆さんは承知しているのか。

【原田会長】

- ・10月に行った2回目の分科会の際に、「皆さんからいただいた意見について、今後は地域協議会で詳細を詰めていく」という話をした。ただ、具体的なスケジュールについては話していない。

【石崎班長】

- ・これから地域協議会で整理し、その後に関係団体の皆さんにフィードバックするという話をした。

【三浦委員】

- ・資料No. 3は、本日初めて見たが、私は高齢者のサロン活動や老人クラブの部分に直接関わっている。これから、新年度の活動計画等について、役員会を開いて検討していくという時期である。サロン活動や老人クラブだけでなく、加工グループ等も来年度の活動を検討する時期だと思うので、地域協議会でまとめてからの報告ではなく、早めに現状を伝え、改善点や要望を考えてもらってもよいと思う。

【原田会長】

- ・どのような資料をお示しするかはともかくとして、何かしらのアプローチをした方がよいかもしれない。

【三浦委員】

- ・資料を見て、「自分たちが積極的にやらなくてはいけない」という思いになるのか、「私たちだけではそこまでできない」となるのかは分からないが、早めにお示しした方が、改善点ももっと具体的になるのではないかと。

【原田会長】

- ・承知した。事務局とも相談し進めたいと思う。
- ・では、協議事項（1）自主的審議事項「ろばた館の利活用について」は以上とし、次

に協議事項（２）地域協議会活動報告会の開催について、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・資料 No. 4 に基づき説明

【原田会長】

- ・以前は、まちづくり協議会のイベントと併せて実施をしたり、地域活動支援事業の報告会を兼ねて実施したこともあったが、今回は地域協議会の活動報告会を単独で実施したいと考えている。
- ・まず、日時と会場について、皆さんの考えはどうか。

【三浦委員】

- ・候補日の３月２日は土曜日だが、日曜日としなかった理由は何があるか。

【石崎班長】

- ・翌日の３月３日はひな祭りに当たるため、子どものいる家庭は、家族で過ごしたいという方もいることが想定されるため、２日とした。

【二宮委員】

- ・会場について、ろばた館は営業日でお客さんがいるため、難しいかもしれない。

【原田会長】

- ・まず、日時については３月２日で決定してよいか。

【各委員】

- ・異議なし

【原田会長】

- ・会場については、二宮委員が言われたように、ろばた館は一般のお客さんがいて、貸切ることも難しいので、公民館としてよいか。

【各委員】

- ・異議なし

【原田会長】

- ・では、活動報告会は３月２日の午前１０時から、公民館で開催する。
- ・次に実施案についてだが、地域協議会の４年間の活動報告を行うが、それ以外に、若い世代や女性を交えて話し合いを行いたいと考えているがどうか。

【石井委員】

- ・趣旨は非常に分かるが、若い世代を集めるのはとても難しい。来ていただくための仕掛けが大切だと思う。

【二宮委員】

- ・視察研修に行った中郷区は、まちづくりに携わる若手が多くいた。会長も50代であった。
- ・まずは一本釣りのような形で、「この人こそは」と思う人に声をかけるのがよいかもしれない。

【三浦委員】

- ・まちづくり協議会では2年前に、まちづくり計画を策定する際、多くの団体からご協力いただいた。その際に「若者会議」というものを実施したことがあったが、私たちの方から「集まってください」と声をかけても集めるのはなかなか難しかった。
- ・また、一本釣りをして集まっていたき実施はしたが、次につながらなかったのも、企画の段階から若い世代や女性に参加してもらい、自由な発想で考えてもらうことがよい。
- ・まちづくり協議会と市では違うかもしれないが、企画の段階からターゲット層に参加してもらうなど、工夫が必要だと思う。

【原田会長】

- ・三浦委員が言われるように、企画の段階から参加してもらうこともよい方法だと思う。
- ・名立町の頃に、若い世代に「君たちでイベントをやってください。必要な経費は出します。企画立案、実行は全て若い世代でやってください。」と任せられたことがあった。
- ・私も当事者になった時代があったが、苦勞しながらも意外ときちんとした企画になって、なんとかやり切ったという思い出がある。
- ・若い世代や女性が興味を持って取り組んでもらえるような仕掛けが大切かもしれない。

【三浦委員】

- ・最近、まちづくり協議会に、「地域でこんなことをやってみたい」と相談に来た若い男性がいた。名立区にはまちづくりに興味がある若者、女性が全くいないという訳

ではないと思う。私はとてもうれしい気持ちで彼の話を聞いていたのだが、この彼の提案を、こちらの枠に当てはめると、上手くいかないと思う。

- ・原田会長も言われたが、企画の段階から若い世代が前に出て、我々は少し後ろから見守る姿勢も大切だと思う。
- ・もう1点、地域の皆さんに案内する時に、活動報告会と若い世代や女性との意見交換会が並列していると、地域協議会委員に興味のある年配の方が出席しづらくなるかもしれないので、切り分けるなど、案内の仕方にも工夫が必要ではないか。

【原田会長】

- ・いただいた意見を参考に、これから具体化していきたいと思うが、市の広報にはどのような形で掲載されるのか。

【石崎班長】

- ・どのような形になるかはこれから決まってくると思うが、前回4年前の改選時のものを見ると、「活動報告会」という名称で28区それぞれの日時と会場が掲載されていた。
- ・市全体の広報は統一した形があり、変えるのは難しいかもしれないが、名立区内の広報では工夫したい。

【二宮委員】

- ・子育て中の方に声をかけるのであれば、会場に保育ルームのようなものを設けるとよいと思う。

【桐木所長】

- ・可能な限りで検討させていただく

【原田会長】

- ・では、協議事項（2）地域協議会活動報告会については以上とし、次に次第4その他事項について、委員の皆さんから何かあるか。

【二宮委員】

- ・地域協議会の会議録について、以前は委員に配付されていたような記憶があるが、最近では配付されていない。自分で、ホームページ等で閲覧する形に変わったのか。

【石崎班長】

- ・会議録は以前から配付していないため、市のホームページ等で確認していただきました

い。

- ・次に、新年祝賀会について委員の皆さんへ案内しているが、申込期限が13日までのため、希望される方は総合事務所の総務班までお申込みいただきたい。
- ・当日は総合事務所前からマイクロバスが出るので、ご利用いただきたい。

【原田会長】

- ・次回の地域協議会の開催日について、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・令和5年度第8回地域協議会の日時：令和6年1月23日（火）

【原田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121（内線 5504）

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。